

2010年7～9月期GDP統計予測

～前期比+0.6%（年率+2.5%）と高めの成長率～

(1) 個人消費を中心に上振れ

2010年7～9月期の実質GDPは前期比+0.6%（年率+2.5%）と、高めの成長率となった見込み。猛暑効果に加え、自動車・タバコの駆け込み購入を受けて、個人消費が拡大したことが主因。

(2) 需要項目の特徴

イ) 個人消費（前期比+0.9%、年率+3.6%）

猛暑効果によるエアコン、冷蔵庫、飲料などの好調に加え、9月初旬のエコカー補助金打ち切りや10月1日のタバコ増税を控えた駆け込み購入に伴い、高めの伸び。

ロ) 住宅投資（前期比+0.7%、年率+2.9%）

住宅ローン減税などの政策効果や金利低下を背景に、前期比プラスに転化。

ハ) 設備投資（前期比+1.0%、年率+4.1%）

業績改善を受けて4四半期連続の増加。製造業、非製造業とも緩やかに持ち直し。

ニ) 公共投資（前期比▲2.9%、年率▲11.2%）

公共事業予算の削減により、5四半期連続の減少。

ホ) 純輸出（前期比寄与度+0.1%ポイント、年率寄与度+0.5%ポイント）

国内生産の減速を受けて輸入の伸びが鈍化（前期比+2.2%、前期比年率+9.1%）したものの、輸出の伸びもアジア、欧州向けを中心に前期比+2.6%（年率+11.0%）と減速したことから、純輸出のプラス寄与は縮小。

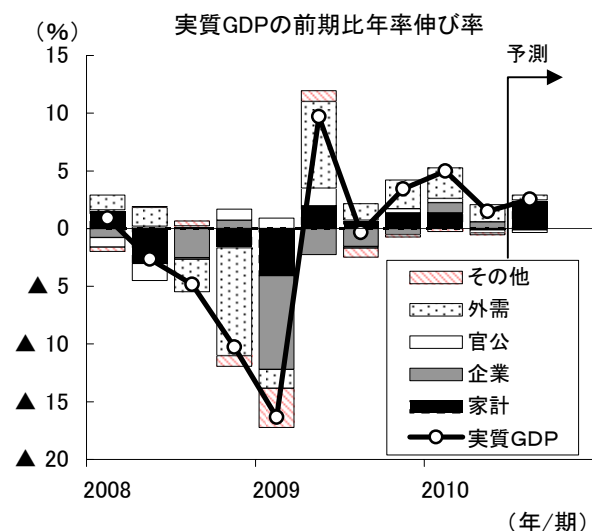
ヘ) GDPデフレーター（前期比+0.1%、年率+0.4%）

個人消費や設備投資デフレーターが低下したものの、円高の影響などにより輸入デフレーターが低下に転じたことなどから、前期比プラスに転化。

(3) 当面の展望：10～12月期はマイナス成長に

当面を展望すると、10～12月期はマイナス成長となる公算大。円高の影響もあり、輸出の増勢鈍化が一段と明確化するほか、自動車販売も前期比1～2割減少する見込み。10～11月の生産予測指数をもとに試算すると、10～12月期の鉱工業生産は、前期比▲4.2%の大幅減となる見込み。

わが国景気は、7～9月期が今次回復局面の当面のピークとなり、10～12月期以降は、景気対策効果の一巡、輸出の増勢鈍化を背景に、足踏み局面に入る見通し。



(資料)内閣府「国民経済計算」をもとに日本総研作成

GDP統計予測表<2010年10月29日時点の公表系列をもとに作成>

■ 前期比

(%, 十億円)

	実質GDP												名目GDP	デフレーター		
	内需								外需							
	民需				官公需				輸出	輸入						
個人消費	住宅投資	設備投資	民間在庫	政府消費	公共投資	公的在庫										
2009/ 7 ~ 9	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 0.3	0.6	▲ 7.2	▲ 1.7	▲ 991.8	▲ 0.1	0.1	▲ 1.2	▲ 25.9	2434.4	8.5	6.3	▲ 0.5	▲ 0.4
10 ~ 12	0.9	0.3	0.3	0.7	▲ 2.9	1.7	▲ 1861.0	0.4	0.7	▲ 1.3	27.3	3254.8	5.7	1.5	0.2	▲ 0.6
2010 1 ~ 3	1.2	0.7	0.7	0.5	0.3	0.8	604.7	0.4	0.6	▲ 0.9	75.5	3621.5	7.0	3.0	1.6	0.4
4 ~ 6	0.4	0.1	0.2	0.0	▲ 1.3	1.5	▲ 300.8	▲ 0.3	0.3	▲ 2.7	▲ 56.3	2502.6	5.9	4.1	▲ 0.6	▲ 1.0
7 ~ 9	0.6	0.5	0.7	0.9	0.7	1.0	▲ 891.8	▲ 0.2	0.3	▲ 2.9	5.3	987.5	2.6	2.2	0.7	0.1

■ 前期比年率

(%, 十億円)

2009/ 7 ~ 9	▲ 0.3	▲ 1.1	▲ 1.3	2.5	▲ 25.8	▲ 6.7	—	▲ 0.6	0.4	▲ 4.8	—	—	38.4	27.6	▲ 1.9	▲ 1.5
10 ~ 12	3.4	1.1	1.0	2.7	▲ 11.0	6.8	—	1.5	2.8	▲ 4.9	—	—	24.8	6.1	0.9	▲ 2.5
2010 1 ~ 3	5.0	2.6	3.0	2.2	1.2	3.2	—	1.5	2.2	▲ 3.5	—	—	31.0	12.6	6.6	1.6
4 ~ 6	1.5	0.2	0.6	0.0	▲ 5.1	6.2	—	▲ 1.1	1.1	▲ 10.3	—	—	25.8	17.4	▲ 2.5	▲ 4.0
7 ~ 9	2.5	1.9	2.8	3.6	2.9	4.1	—	▲ 0.9	1.2	▲ 11.2	—	—	11.0	9.1	2.9	0.4

■ 前年同期比

(%, 十億円)

2009/ 7 ~ 9	▲ 5.2	▲ 3.8	▲ 5.8	▲ 0.4	▲ 20.3	▲ 20.9	▲ 215.4	3.3	2.0	11.6	▲ 9.7	▲ 2734.6	▲ 22.7	▲ 16.0	▲ 5.8	▲ 0.7
10 ~ 12	▲ 1.0	▲ 2.9	▲ 4.6	1.2	▲ 24.5	▲ 13.5	▲ 2244.2	3.0	1.7	9.2	▲ 25.0	1511.1	▲ 4.7	▲ 15.4	▲ 3.8	▲ 2.8
2010 1 ~ 3	4.7	1.0	0.6	3.3	▲ 18.1	▲ 4.6	▲ 218.7	2.1	1.5	4.6	20.6	4379.7	34.6	5.5	1.8	▲ 2.8
4 ~ 6	2.4	0.7	0.7	1.8	▲ 10.5	2.4	▲ 754.1	0.6	1.6	▲ 5.5	5.9	2843.9	30.0	15.7	0.7	▲ 1.7
7 ~ 9	3.0	1.5	1.8	2.2	▲ 1.8	5.0	▲ 687.5	0.3	1.8	▲ 8.3	27.9	2226.9	21.6	12.4	1.0	▲ 2.0

■ 前期比・寄与度

(%)

2009/ 7 ~ 9	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 0.3	0.4	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 0.0	0.0	▲ 0.1	▲ 0.0	0.3	1.0	▲ 0.7	—	—
10 ~ 12	0.9	0.3	0.2	0.4	▲ 0.1	0.2	▲ 0.4	0.1	0.1	▲ 0.1	0.0	0.6	0.7	▲ 0.2	—	—
2010 1 ~ 3	1.2	0.6	0.6	0.3	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	▲ 0.0	0.0	0.6	1.0	▲ 0.4	—	—
4 ~ 6	0.4	0.1	0.1	0.0	▲ 0.0	0.2	▲ 0.1	▲ 0.1	0.1	▲ 0.1	▲ 0.0	0.3	0.9	▲ 0.6	—	—
7 ~ 9	0.6	0.5	0.6	0.6	0.0	0.2	▲ 0.2	▲ 0.1	0.1	▲ 0.1	0.0	0.1	0.5	▲ 0.4	—	—

■ 前期比年率・寄与度

(%)

2009/ 7 ~ 9	▲ 0.3	▲ 1.1	▲ 1.0	1.5	▲ 0.8	▲ 0.9	▲ 0.7	▲ 0.1	0.1	▲ 0.2	▲ 0.0	1.4	4.6	▲ 3.2	—	—
10 ~ 12	3.4	1.1	0.8	1.6	▲ 0.3	0.9	▲ 1.4	0.4	0.6	▲ 0.2	0.0	2.5	3.3	▲ 0.8	—	—
2010 1 ~ 3	5.0	2.6	2.2	1.3	0.0	0.4	0.5	0.4	0.4	▲ 0.2	0.1	2.7	4.3	▲ 1.6	—	—
4 ~ 6	1.5	0.2	0.5	0.0	▲ 0.1	0.8	▲ 0.2	▲ 0.3	0.2	▲ 0.4	▲ 0.0	1.5	3.8	▲ 2.3	—	—
7 ~ 9	2.5	2.1	2.3	2.4	0.1	0.6	▲ 0.7	▲ 0.2	0.3	▲ 0.5	0.0	0.5	1.9	▲ 1.5	—	—

■ 前年同期比・寄与度

(%)

2009/ 7 ~ 9	▲ 5.2	▲ 4.1	▲ 4.8	▲ 0.2	▲ 0.6	▲ 3.3	▲ 0.2	0.7	0.3	0.3	▲ 0.0	▲ 2.0	▲ 3.8	1.8	—	—
10 ~ 12	▲ 1.0	▲ 3.0	▲ 3.7	0.7	▲ 0.7	▲ 1.8	▲ 1.6	0.6	0.3	0.4	▲ 0.0	1.1	▲ 0.7	1.8	—	—
2010 1 ~ 3	4.7	1.1	0.5	1.9	▲ 0.5	▲ 0.8	▲ 0.2	0.5	0.3	0.2	0.0	3.4	4.0	▲ 0.6	—	—
4 ~ 6	2.4	0.7	0.6	1.1	▲ 0.3	0.3	▲ 0.6	0.1	0.3	▲ 0.2	0.0	2.2	3.7	▲ 1.5	—	—
7 ~ 9	3.0	1.4	1.4	1.3	▲ 0.0	0.7	▲ 0.5	0.1	0.3	▲ 0.3	0.0	1.7	3.0	▲ 1.2	—	—

(注1) 民間在庫、公的在庫、外需の前期比、前年同期比はそれぞれ前期差、前年同期差。

(注2) 実績値は、基礎統計の追加、季節調整のかけ直しなどの要因により、内閣府公表の数値とは異なっている可能性もある。